令和６年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	山形県山形市
事業細目名	国民体育大会冬季大会競技会場整備
事業名	蔵王ジャンプ台施設設備整備事業 （スペシャルジャンプ・コンバインドジャンプ競技）
助成金額	165,296,000 円

令和４年度国民体育大会冬季大会競技会場整備で蔵王ジャンプ台のスロープカー設置、駅舎増築及びリザルトシステムの整備を実施した山形県山形市に対して調査を行いました。

本施設は市有スポーツ施設唯一のスキージャンプ台であり、国際基準に即した助走路が整備されている世界トップ水準のスキージャンプの競技施設です。夏季にもジャンプ競技の実施が可能となっており、年間を通じての大会開催や利用が可能となっています。

■助成の意義

くじ助成を受けリザルトシステムを整備したことで、最新のルールに即した成績処理を行えるようになり、公正・公平な競技会の開催が可能となりました。また、スロープカーを増設したことで、選手の輸送能力が向上したことで待機時間が短縮されたことにより、競技環境の向上、円滑な競技運営が可能となりました。国民スポーツ大会だけでなく、ワールドカップといった国際大会も開催されており、今後更なる競技振興の機運醸成に寄与することが期待できます。

■事業効果を高めるための取り組み

ホームページでの PR のみならず、市役所庁舎内のデジタルサイネージに掲示するなどして助成事業の PR が行われていました。また、山形市恒例の「花笠まつり」（３日間・約 70 万人来場）において、スポーツ振興くじのブースを作り、蔵王ジャンプ台の施設整備をはじめとする、これまで受けたスポーツ振興くじ助成の内容について紹介するなどの取り組みが行われていました。

■その他

利用時に不測の事態が無いよう、定期的に各施設・設備の動作確認を行うとともに、要修繕箇所等が発生した場合は速やかに対策を取れるよう施設の維持管理を入念に行うとのことです。

■所感

蔵王ジャンプ台が位置する山形市蔵王スキー場は観光地としても人気があり、特に冬季のスキー・スノーボードシーズンには多くの人が訪れます。大会開催等の機会にジャンプ台がそうした人の目に留まることで、より地域のスポーツ振興に大きく貢献していくことが期待されます。

（令和６年 11 月１日往査）

（写真）蔵王ジャンプ台



